

食と資材の専門館

PRO MARKET ProMARKET プロマーケット

売れ筋ランキング つゆ編

1位 コスパと味のバランス抜群!!

追いかつお製法の香り高いまろやかなつゆです。コスパがよく、味のバランスが◎抜群の安定感で堂々の第1位となりました!!

関東風

追いがつお つゆの素

注文番号	X009052
メーカー名	Mizkan
内容量	1800ml



2位 上品でまろやかな万能つゆ

食べてみて納得の価格。上品でまろやかな味に仕上げた濃厚つゆです。名前はそばつゆですが万能に使えるところも人気の理由。

そばつゆ

注文番号	X008322
メーカー名	創味食品
内容量	1800ml



3位 たっぷり使える関西風白だし

本醸造白しょうゆにかつお節と椎茸のだしを合わせた白だしです。コスパの良さと内容量の多さが人気。堂々の3位にランクイン!!

関西風

鰹節屋の 白だし

注文番号	X105200
メーカー名	マルトモ
内容量	1800ml



4位

だし一筋の技が引き出す鰹節の芳醇な香りとうまい味です。使い切りやすい500mlが1000mlを抑えランクイン!

関東風

めんつゆ

注文番号	X607649
メーカー名	ヤマキ
内容量	500ml



5位

かつおの香りが強いエキスを使用し、風味を強化したつゆ。お手頃価格で手に取りやすいところも人気の理由になっています。

関東風

本かつおつゆ

注文番号	X883213
メーカー名	マルトモ
内容量	1800ml



6位

口当たりがよく上品なおいしさの白だしです。使いやすいサイズ感と定番品だからこそ、安定の人気!!

関西風

あわせだし 白だし

注文番号	X036622
メーカー名	イチビキ
内容量	1000ml



プロマーケットでのランキング結果はこのようになりました。(つゆ・だし)の味は東西で大きく違う事を知っている人も多いと思います。ちなみに味の変わる境界線は東海地方と言われています。そこで、裏面では東西のつゆの違いに少し触れてみました。味にこだわる皆様のご参考にしてみてはいかがでしょうか。

豆知識

関東つゆと関西つゆの境界線は関ヶ原だそうです。

●東西のつゆの特徴



関東つゆ

色が濃いのが特徴です。

濃口醤油を使用しており、しっかりとした味わいが特徴です。

鰹節+濃口醤油

どちらかと言えば硬水に近い。硬水は昆布の出汁がうまく取れません。軟水で取らないと生臭みがでてしまいます。

関西つゆ

色が薄いのが特徴です。

薄口醤油を使用しています。出汁本来の味を活かすあつさりとした味わいです。

昆布+薄口醤油
その他、煮干しや鰹節

全体的に軟水と言われている日本の中でも、関西は特に軟水と言われています。ミネラルが少ない軟水は昆布の出汁がとりやすいです。

●素材の話

鰹節

●主な産地

鹿児島県 枕崎市・指宿市

国内産の98%は枕崎市・指宿市・焼津市産

静岡県 焼津市

●主な種類

鰹節は水揚げした鰹を三枚におろし煮て燻し、表面の水分を飛ばしたもの【なまり節】、なまり節をさらに乾燥させたものを【荒節】、荒節の表面を削ったものを【裸節】、裸節にカビをつけたものを【枯節】といいます。

本枯節うす削り (血合い抜き)



すっきりとした味わいで香り高く、透明度が高い。

関東風 カビあり

本枯節うす削り (血合い入り)



旨味が強く、濃い味のしが取れる。

関東風 カビあり

荒節うす削り (血合い入り)



一般的に使用される鰹節。香ばしさが特徴。

関西風 カビなし

昆布

●主な産地

北海道 根室市・えりも町・浜中町

国内産の90%は北海道産

青森 六ヶ所村・東通村・大間町

岩手 宮古市・洋野町・久慈市

●主な種類

昆布は北海道でほぼすべての生産がされていて、産地によって【真昆布】【利尻昆布】【羅臼昆布】に分類されます。昆布によって硬さや形が違う特徴を持っています。

真昆布



くせのない上品な甘みで色は透明に近い。

利尻昆布



味が濃く香り高く色は透明。

羅臼昆布



濃厚でコクのある味で、黄色みのあるだしが特徴。

●チラシに関するお問い合わせは…